

1 活動の背景

草加松原団地は平成15年3月に都市基盤整備公団（平成16年7月に独立行政法人都市再生機構に移行、以下「都市機構」という）より住民に対し第1期建て替え事業の説明会が行われ平成17年4月より建て替え工事が着手される。

草加松原団地は、総戸数5,926戸を数える大規模団地であり、大きくA・B・C・Dの4地区に分かれ、建て替え事業完了の予定は平成28年である。

建て替え事業の為、全地区が入居停止となっており、又、団地外に移転する人も多く現居住者は5,000戸強、65歳以上が24.6%と高齢社会となっている。

2 活動の経緯と目的

2 - 1 これまでの経緯

草加松原団地自治会（以下「自治会」という）では従来から居住者が安心して住み続けられるまち、よりよい魅力あるまちづくりを目標に、自治会活動を行ってきた。

昨年は財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団の調査協力団体に選定され「草加松原団地40年の歩み」写真集の発行と「新しい集会所づくり」ワークショップを実施した。

これを機にまちづくり活動に対する認識が高まり従来以上に活発な活動を展開している。昨年は主として、下記のような活動を行ってきた。

- ・自治会報の発行、全戸配布（毎月1回）
- ・「草加松原団地40年の歩み」写真集の発行（3月）
- ・「新しい集会所づくり」ワークショップ（5回）
- ・A北側地区の新集会所に関する「住民の七つの提言」を都市公団に提出（6月）
- ・建て替えを考える会（毎月1回）
- ・建て替えを考える会・まちづくり部会（6月より毎月1回）
- ・都市機構との建て替えに関する二者懇談会（毎月1回）
- ・建て替え進行情報ニュース全戸配布（2回）
- ・都市公団主催の緑のワークショップへの参加（6月）
- ・公園の除草活動（4月、6月、9月、10月）
- ・団地祭り「打ち上げ花火、手づかみ金魚つかみ、ソシアルダンス等」（8月）
- ・新・山車づくりプロジェクト（9月より毎月1回）
- ・防犯パトロール（毎週土曜日実施）

以上まちづくりに関する活動のほかに、月1回のふれあい喫茶や敬老会、竹とんぼづくり、餅つき大会など長年住民とともにおこなってきた活動が定着している。

平成13年1月に自治会を母体に「草加松原団地の建て替えを考える会」（以下「考える会」という）を結成し（自治会役員は建て替えを考える会会員兼務）、近い将来に建て替え事業の指定をされることを想定して月1回の学習会を行ってきた。

それ以後、建て替え事業の主体である都市機構、地元自治体の草加市とは、二者懇談会を進める中で要望活動、意見交換などを行ってきている。また、都市機構、草加市、自治会の三者懇談会も適時、実施している。

草加松原団地内での、まちづくり活動のハード的展開を考える時、地権者たる都市機構との協議が必要不可欠である事と、当面の活動の担い手が自治会役員と考える会会員である事から、平成16年6月に考える会の中に「まちづくり部会」を発足させ月1回の定例会（議題に応じてワークショップ化）を実施している。今後、まちづくり部会をさらに発

展させていく事で建て替えにおいて住民が安心して住めると共に、この団地をふるさととして育てていく子供たちの為にも快適な空間のあるまちづくりを住民の要望として都市機構と草加市に提案していきたいと考えている。

2 - 2 活動の目的

草加松原団地の建て替え事業は平成17年4月より第1期工事が着手される。昨年から行ってきた、新しい集会所づくりのためのワークショップでは、主として間取り、設備などの機能（ハード）面についての内容だった。

これらを基に今後も都市機構と協議検討を重ね居住者が使いやすい集会所を作りあげたいと考えている。又、今回はハード面のみならず、集会所を介したコミュニティの形成を目指した、ソフト面でのワークショップを実施したいと考えている。

入居開始から40年を過ぎた草加松原団地の高齢化率は24.6%（草加市平均13.6%）と飛びぬけて高くなっており居住者の健康保持が大きな課題となっている。

自治会は建て替え後団地内に安全で快適な散歩ができる道路を整備するよう都市機構に提言した。

しかし、第1期の工事完成まで5年を要し、全体では10数年要するため、第1期（A地区）外のB・C・D地区において散歩コースを選定し団地内を歩いてもらい健康増進に役立てる事を計画した。

幸いにして、団地内には、四季折々に花を咲かせる樹木が点在し児童公園や緑道の緑が豊かである事から、これらのビューポイント（点）を「快適さんぽみち」として線で結び、写真で紹介しガイドとしての「快適散歩道ロードマップ」を作成する。

現在、集会所を活動拠点とするサークル・団体が多くあるので、各サークル・団体に対して、ヒアリング・アンケート調査を行い、新しい集会所づくりを進めるための参考としたい。又、集会所を利用するサークル・団体間の連携、コミュニケーションはほとんどない状態であるので、今回のヒアリング・アンケート調査をネットワーク作りの出発点としたいと考えている。

「新しい集会所づくり」のためのワークショップや「快適散歩道ロードマップ」作成、まちづくり部会の状況と成果を居住者に伝え、活動の輪を広げていくために、「まちづくり活動ニュース」を発行する。

3 活動の内容

3 - 1 活動の概要

まちづくり活動の情報ニュース発行	集会所ワークショップやまちづくり郡会の状況、成果を広く居住者へ伝えると同時に、活動の輪を広げていくため、活動内容を魅力的にアピールするまちづくりニュースを発行する。
「みんなが集える集会所」づくりのためのワークショップの開催	これまでのワークショップでは、他団地の事例を学んだり、夢を描きながら、集会所のコンセプトを中心に、住民間の意見を「七つの提言」として、まとめてきた。現在、思い描いてきたイメージを設計内容に反映してもらうため、引き続き専門家の技術的支援を受けながら、具体的な設計案について、ワークショップ型式で検討を進めている。 また、いつでも誰でも気軽に寄れる、交流を大切に集会所を作るため、地域での管理を視野に入れ、集会所の管理運営についても、検討していく。
おすすめ散歩道マップの作成と快適散歩道づくり	団地内は、児童館や保育園、商店を横に繋ぐ形で緑道が整備され、団地建替後も緑道を保存する方向性となっている。そこで、多くの住民が利用している緑道や、緑道から枝分かれている緑の小径、点在する緑豊かなオープンスペース等の資源を見つめ直し、「よ歩道」「隠れ小径」「花が咲き誇る道」等、住む人のみぞ知る情報を収集しながら、おすすめ散歩道マップを作成する。また、高齢者が健康づくりのために気軽に散歩できるよう段差解消の改修や、散歩途中で休憩できるベンチの設置、花植え活動等により、出歩きたくなる快適散歩道づくりを進めていく。 これらの活動を通して、まちづくり活動の輪を広げていく。
サークル団体等へのヒアリング調査	団地内には、40 団体を越えるサークルが、集会所等を利用しながら、多様な活動を繰り広げている。今後、個々に活動する団体との交流を深めながら、地域のネットワークを強化していくため、サークル団体を中心にヒアリングを行い、活動サークルの実態を把握すると同時に、ヒアリングを通して、まちづくり活動のPR を行っていく。

3 - 2 まちづくり活動の情報ニュース発行

1) まちづくり活動ニュース発行の打合せ

(平成17年1月6日(木)午後8時~9時 ハーモネス集会所)

出席者5名(考える会会員3名、草加市職員2名)

タブロイド両面刷り、3000部印刷 印刷会社へ発注する

内容 1面はまちづくり特集、2面は第2期建て替え説明会特集

3月17日(木)、18日(金)に配布する

2) まちづくり活動ニュース発行の打合せ

(平成17年2月26日(土)午後1時~5時 まちづくり事務所)

出席者3名(考える会会員3名)

1面の割付検討

1面の掲載写真選定

1面の記事内容検討

- ・第6回「新しい集会所づくり」ワークショップ報告
- ・第7回「新しい集会所づくり」ワークショップ開催予告
- ・サークル・団体等へのヒアリング・アンケート調査報告
- ・「快適散歩道・ロードマップ」完成報告

1面の記事原稿作成(中川、安田)

3) まちづくり活動ニュース発行の打合せ

(平成17年3月5日(土)午後4時~6時 まちづくり事務所)

出席者3名(考える会会員3名)

2面の割付検討

記事内容は3月12日、13日の第2期建て替え説明会について

2面の記事は佐々木が担当(原稿締切りは3月13日とする)

4) 印刷業者との打合せ

(平成17年3月7日(月)午前10時~10時30分 まちづくり事務所)

出席者2名(考える会会員1名、印刷業者1名)

1面原稿を渡す

5) 1面原稿の校正

(平成17年3月9日(水)午後7時~9時 まちづくり事務所)

出席者1名(考える会会員1名)

6) 印刷業者との打合せ

(平成17年3月10日(木)午前10時~10時30分 まちづくり事務所)

出席者2名(考える会会員1名、印刷業者1名)

1面校正原稿を渡す

- 7) 印刷業者との打合せ
(平成17年3月14日(月)午前10時~10時30分 まちづくり事務所)
出席者2名(考える会会員1名、印刷業者1名)
2面原稿を渡す
- 8) 2面原稿の校正
(平成17年3月15日(火)午後7時~9時 まちづくり事務所)
出席者1名(考える会会員1名)
- 9) 印刷業者との打合せ
(平成17年3月16日(水)午前10時~10時30分 まちづくり事務所)
出席者2名(考える会会員1名、印刷業者1名)
2面校正原稿を渡す
- 10) まちづくり活動ニュース完成受取り
(平成17年3月17日(木)午後1時~1時15分 まちづくり事務所)
出席者1名(考える会会員1名)

3-3 「みんなが集える集会所」づくりのためのワークショップの開催

- 1) 集会所づくりワークショップ準備会議
(平成17年1月6日(木)午後7時~8時 ハーモネス集会所)
出席者名(考える会会員3名、草加市職員2名)
ワークショップの日程決定(第6回2月19日、第7回3月19日の2回開催)
第6回ワークショップの進め方確認
第6回ワークショップの目的「多摩NTでの取り組みを参考に、松原団地の集会所の今後について考える」
- 2) 集会所づくりワークショップ準備会議
(平成17年2月3日(日)午後1時~3時 ハーモネス集会所)
出席者4名(考える会会員3名、草加市職員1名)
井澤さん(草加市職員)からワークショップの講師について提案
第6回のワークショップの講師を松原和男さん(多摩ニュータウンまちづくり専門家会議理事)に依頼することに決定。第1回からワークショップの講師を務めている千葉大学の新井氏をコーディネーターとして、依頼することを決定
第7回のワークショップの講師を千葉大学の新井氏に依頼することに決定
- 3) 第6回集会所づくりワークショップ
(平成17年2月19日(土)午後4時~6時 ハーモネス集会所)
出席者17名(考える会会員12名、草加市職員2名、千葉大学3名)
松原さん(多摩ニュータウンまちづくり専門家会議理事)がパワーポイントを使用して多摩二

ュータウンでのまちづくり活動を紹介（まちひろばプロジェクト、カフェ・ド・ウッドウー、ガーデンクラブ、地域通貨 COMO 倶楽部等）

7) COMO 倶楽部の活動の特徴

高齢化への不安がきっかけ。団地内での交流よりも団地外との交流が多いかもしれない。

- ・自分たちのことは自分たちでやる
- ・不特定多数の活動である（仕組みなど）
- ・手作り、楽しんでいる

1) 松原団地での活動の特徴

- ・ふれあい喫茶・ 担い手不足 COMO 倶楽部のように押し付けられない活動が継続のポイント
- ・松原団地では情報交換の場が不足していた。

り) 質疑応答

Q：多摩 NT での活動には自治会のような母体はなかったのか

A：分譲の管理組合は財産管理が目的であるため、地域活動のようなことは行わない。COMO 倶楽部の活動は既存組織とは関係ない。

Q：COMO（地域通貨）の仕組みについて

A：地域通貨はちょっとしたふれ合いを、より楽しくするためのもの。地域通貨だけではダメ。他の仕組みも必要。

Q：インターネットは使えない。

A：確かにインターネット（メーリングリスト）は便利だが、やり方は地域ごとであっていい。

もしかしたら、それを教えるために地域通貨を利用できることもあるかもしれない。

Q：活動の参加者は？

A：COMO 倶楽部の会員は多摩 NT 中からまんべんなく来ている。そこでの人間関係では色々問題もあるかもしれないが、そこには介入しない。むしろ、もっと新しい人たちが入ってきてくれるような楽しみを提供していく。

I) その他の意見

- ・自治会組織率が低いならば、新しい楽しみなどで盛り上げることが大切（団地外との交流も必要）
- ・おしゃれな方がいい。だが、プロによるデザインではなくても、コミュニ

- ・ティーの中でできたデザインの方が、温かみがあっていい。
- ・全ての活動が福祉、奉仕でなくていい。楽しむ気持ちをもってとりあえずやってみるということが大切。失敗しても失うものは何もない。

4) 集会所づくりワークショップ準備会議

(平成17年3月10日(木)午後5時30分~9時 ハーモネス集会所)

出席者4名(考える会会員2名、草加市職員1名、千葉大学1名)

第6回集会所づくりワークショップの感想、反省、出席者の確認

第7回ワークショップの打合せ

第7回ワークショップの目的「新しい集会所での交流の場のイメージ共有・

オープニングイベントのイメージ共有」

5) 第7回集会所づくりワークショップ

(平成17年3月19日(土)午後4時~6時30分 ハーモネス集会所)

出席者17名(考える会会員12名、草加市職員3名、千葉大学2名)

第6回集会所づくりワークショップのおさらい

各サークル・団体へのヒアリング・アンケート調査レポート中間報告、意見交換

ア) ヒアリング・アンケート調査の分析結果報告および意見交換

- ・会員10名以下の小さなサークルが51%・・・仲良し、友人だけが集まって趣味的活動を行っている所も多い
- ・女性66%・・・男性は会社退職後も、地域にとけ込まない。老人会で男性が多いと支配的・命令調が多くなり雰囲気と和まず全体もまとまらない
- ・60代以上が72%・・・若い人が参加してくれるようフラダンスを始めた(野ばら会)
- ・団地内利用者57%、団地外利用者33%・・・団地居住者のための集会所であるがサークルの広がりと共に団地外の人参加しており地域で使う集会所となりつつある
- ・利用料金・・・「安い」営利を目的としないサークル、「高い」月謝をとって教えている塾的な団体の場合料金設定が高い
- ・利用回数、月1~2回の活動51%、ほぼ毎週36%・・・活発な活動を行っているサークルが多い
- ・新しい集会所のオープニングイベントについて・・・8団体から10件のアイデアが出された。この団体を中核として、まとめるだけでイベントはできそう

今後のまちづくりの目標(3年後)、新集会所での交流(イベント)、まちづくり部会のスケジュールを全員で確認

イ) まちづくり活動の展望

- ・3年後・・・自治会会員を増やす・身近に感じられる自治会

持ち家に住んでいる割合が多い町内会と違って賃貸住宅である松原団地には地域の一体感が乏しい。

自治会に未加入の人が多いのも、その表れだと思われる、もっと多彩なイベントや活動を行って自治会の存在をアピールしていくことで自治会への加入者を増やす取り組みをすべきだ。

その過程を含めて地域が一体感を共有し盛りあがってくると思う。

り) 平成19年10月の新集会所オープンに向け、住民主体のオープニングイベントを企画

- ・オープニングイベントでの他団体とのタイアップ
 - ・アンケート調査で回答のあった8団体
 - ・独協大学、学生の部活への働きかけ
 - ・栄中学校プラスバンド
 - ・栄小学校鼓笛隊
 - ・防災訓練と合わせトン汁の炊き出し
 - ・フリーマーケット
- ・1年前にプレイベント、今年10月にプレ・プレイベントを実施する
- ・年1回・・・文化祭、発表会の場を企画
- ・月1回・・・ふれあい喫茶と他の催しとの組合せ
- ・週1回・・・ふれあい喫茶（主催サークル持ち回りで）の実施
- ・ほぼ毎日・・・自治会の相談窓口、草花の手入れ

I) 今後のまちづくり部会のスケジュール

- ・快適散歩道ロードマップ作成記念の「歩こう会」イベントの実施
- ・4月のまちづくり部会で、プラン、日程を決定
（楽しめるアイデアと共に、今後にかける散歩道の調査も行う）
- ・A北集会所の間取り、設備、運用について具体化
- ・オープニングイベントでの他団体とのタイアップの具体化



第6回ワークショップ



第7回ワークショップ

3 - 4 おすすめ散歩道マップの作成と快適散歩道づくり

1) まちづくり部会

(平成16年12月18日(土)午後4時~6時15分 ハーモネス集会所)

出席者15名(考える会会員12名、草加市職員3名)

ロードマップ編集について基本的な進め方を全員で確認

散歩みちルートのアンケート調査について打ち合わせ

建て替えを考える会会員より7名の編集委員選出

編集会議の日程を全員で確認

2) 団地C・D地区の写真撮影

(平成16年12月23日(木)午前10時~11時 草加松原団地)

出席者1名(考える会会員1名)

散歩道ルートアンケート用紙印刷(240部)および配布(中川、安田)

3) 第1回ロードマップ編集会議

(平成17年1月8日(土)午後2時~5時 C集会所)

出席者8名(編集委員7名、印刷業者1名)

印刷業者との打合せ

ロードマップの装丁、サイズ、ページ数、内容、構成を検討

4) まちづくり部会

(平成17年1月15日(土)午後4時~6時30分 ハーモネス集会所)

出席者12名(考える会会員10名、草加市職員2名)

散歩みちルートのアンケート集計(40件回収)

散歩みちルートの仮決定

編集会議の日程を全員で確認



散歩みちルート集計作業



散歩みちルート仮決定

5) 第2回ロードマップ編集会議

(平成17年1月16日(日)午前9時30分~12時 草加松原団地、C集会所)

出席者5名(編集委員5名)

仮決定散歩みちルートの実地検証(B地区南、C・D地区)

氷雨のため検証は11時で切り上げ

編集会議の日程を全員で確認



氷雨のなかでの実地検証



氷雨のなかでの実地検証

6) 仮決定散歩みちルートの写真撮影

(平成17年1月19日(水)午前10時~11時 草加松原団地)

出席者1名(編集委員1名)

7) 仮決定散歩みちルートの写真撮影

(平成17年1月22日(土)午前10時~11時 草加松原団地)

出席者1名(編集委員1名)

8) 第3回ロードマップ編集会議

(平成17年1月23日(日)午前10時~11時20分 午後1時~4時 草加松原団地、B集会所)

出席者7名(編集委員7名)

仮決定散歩みちルートの実地検証(B地区北、C、D地区)

仮決定散歩みちルートの本決定

ロードマップの割付を検討

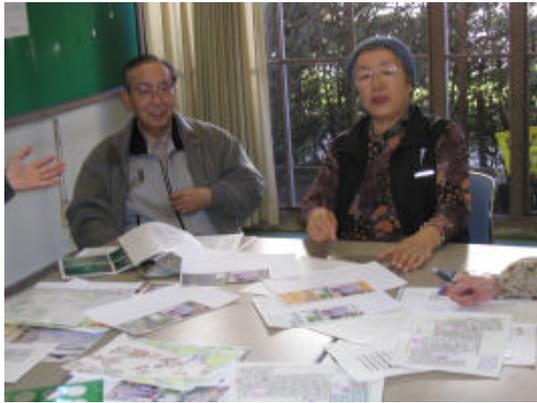
9) 第4回ロードマップ編集会議

(平成17年1月30日(日)午後1時~4時30分 C集会所)

出席者6名(編集委員6名)

A、B地区の写真選定

表紙デザイン検討



編集会議の様子



編集会議の様子

10) ロードマップ編集打合せ

(平成17年2月1日(火)午後8時~10時 ハーモネス集会所)

出席者5名(編集委員2名、草加市職員2名、デザイナー1名)

芝田さん(草加市職員)より河野さん(デザイナー)を紹介される
河野さん(デザイナー)との打ち合わせ

11) 団地A・B地区全景の写真撮影

(平成17年2月2日(水)午前10時~11時 草加松原団地)

出席者1名(編集委員1名)

12) 団地C・D地区全景の写真撮影

(平成17年2月5日(土)午前10時~11時 草加松原団地)

出席者1名(編集委員1名)

13) 第5回ロードマップ編集会議

(平成17年2月6日(日)午後2時~6時 C集会所)

出席者6名(編集委員6名)

河野さん(デザイナー)との打ち合わせ内容報告

C、D地区の写真選定

河野さん(デザイナー)へ写真データ郵送

14) 河野さん(デザイナー)より裏面・栞表紙データをEメールにて受取る

(平成17年2月10日(木)午後9時)

15) 第6回ロードマップ編集会議

(平成17年2月13日(日)午後0時~1時 C集会所)

出席者6名(編集委員6名)

ロードマップ裏面・栞表紙の校正

校正内容を郵送およびEメールにて送付

16) 河野さん(デザイナー)より裏面・栞表紙データをEメールにて受取る

- (平成17年2月14日(月)午後7時30分～8時30分 まちづくり事務所)
出席者2名(編集委員2名)
ロードマップ裏面・ウラ表紙の再校正(中川、安田)
校正内容を郵送およびEメールにて送付
- 17) 河野さん(デザイナー)より表面・ウラ表紙データをEメールにて受取る
(平成17年2月17日(木)午後8時30分～10時 まちづくり事務所)
出席者2名(編集委員2名)
ロードマップ表面・ウラ表紙の校正(中川、安田)
校正内容を郵送およびEメールにて送付
- 18) 河野さん(デザイナー)より校正された表面・ウラ表紙データをEメールにて受取る
(平成17年2月18日(金)午後9時)
- 19) 第7回ロードマップ編集会議
(平成17年2月20日(日)午後2時～9時 C集会所)
出席者10名(編集委員7名、草加市職員1名、デザイナー1名、印刷業者1名)
ロードマップの校正
印刷業者との打合せ
- 20) 印刷業者へロードマップ原稿手渡し
(平成17年2月21日(月)午前10時～10時15分 まちづくり事務所)
出席者1名(編集委員1名)
- 21) 第8回ロードマップ編集会議
(平成17年2月26日(土)午後0時～1時 C集会所)
出席者7名(編集委員5名、印刷業者2名)
ロードマップの色校正
- 22) 印刷業者との打合せ
(平成17年3月5日(土)午前2時～2時30分 まちづくり事務所)
出席者1名(編集委員1名)
- 23) ロードマップ完成受け取り
(平成17年3月15日(火)午前10時～10時15分 まちづくり事務所)
出席者1名(編集委員1名)

快適散歩道ロードマップ

(ジャバラ折8ページ)



表・表紙



裏・表紙



裏(ジャバラ折り6ページ)

3 - 5 サークル団体等へのヒアリング調査

1) ヒアリング・アンケート調査準備会議

(平成17年1月6日(木)午後9時~10時 ハーモネス集会所)

出席者5名(考える会会員3名、草加市職員2名)

ヒアリング・アンケート調査内容確認

ヒアリング・アンケート用紙草稿を井澤さん(草加市職員)が作成することに決定

2) ヒアリング・アンケート調査準備会議

(平成17年1月23日(日)午前11時20分~12時 B集会所)

出席者6名(考える会会員6名)

ヒアリング・アンケート調査日程確認

アンケート項目を検討

3) ヒアリング・アンケート調査準備会議

(平成17年2月3日(木)午後9時~10時 ハーモネス集会所)

出席者4名(考える会会員3名、草加市職員1名)

ヒアリング・アンケート調査用紙決定

中川さん(考える会会員)より告知ビラの掲示提案が出される(調査員が集会所使用中に訪問する旨のビラを集会所入口に掲示する)

4) ヒアリング・アンケート調査準備会議

(平成17年2月6日(日)午後0時~2時 C集会所)

出席者12名(考える会会員8名、東京都立大学1名、千葉大学3名)

ヒアリング・アンケート調査および回収方法確認

ヒアリング・アンケート調査日程(2月中に行う)および担当者決定

ヒアリング・アンケート回答の分析を新井さん(千葉大学院生)に依頼

5) ヒアリング・アンケート調査実施

(平成17年2月5日(月)~2月28日(月) 松原団地)

参加者14名(考える会会員11名、東京都立大学1名、千葉大学2名)

打合せの様子



4 活動の成果

平成15年度に財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団から受託した調査事業で展開した「新しい集会所づくり」のワークショップを、その後も継続させ都市機構に「新しい集会所に関する住民の七つの提言」を提出し都市機構との数度の話し合いの後、住民のふれあいと交流をコンセプトにした「A北地区、新集会所の住民プラン」図面を提出し都市機構から住民案を尊重した設計を行うとの回答を得たことは大きな成果である。

今回は新しい集会所をコミュニティ形成の拠点として作り上げていくための基礎となるワークショップが実施できたことで、集会所を利用するサークル・団体のネットワーク化など、新しい展開を計る上で有意義だった。

快適散歩道ロードマップは、今後、自治会会員に配布することで団地内を改めて見直し、建て替え事業においても住民の立場でより良い住環境を考える機会を提供するものと考えられる。又、広い団地であるがゆえに、他地区の細部まで知らない人も多く、今回ロードマップを見ることで、団地内のビューポイントに興味を抱いているものと確信する。高齢者の中で散歩する人や回数が増えることで健康増進につながるものと期待している。

各サークル・団体に対して、ヒアリング・アンケート調査活動を行ったことで、今まで、個々に活動していた、サークル・団体等の人たちの「新しい集会所づくり」や「まちづくり」活動への関心が高まったことも大きな成果だった。

5 今後の展開

今年も草加市の「第2回草加市ふるさとまちづくり応援基金助成事業」に応募し4月以降も、本事業を継続発展させていく。

5 - 1 活動の具体的内容

作業項目	内容等
「みんなが集える集会所」づくりのためのワークショップの開催	A北の新集会所をコミュニティ拠点として形成していくためのワークショップの継続。平成19年10月オープンに向け、交流をコンセプトにしたオープニングイベントを企画していく。 今後、他地区に作られていく集会所についても検討していく。
快適散歩道づくり	快適散歩道ロードマップ作成記念の「歩こう会」イベントの実施、ルート上の段差やコンクリートの割れ目などを調査し整備していくよう都市機構に働きかける。又、散歩途中で休憩したい場所のアンケート調査を行い、ベンチ設置に取り組んでいきたい。
サークル・団体等への働きかけ	「みんなが集える集会所」づくりのためのワークショップやオープニングイベントへの参加、協力を働きかけ、ネットワーク化を行っていく。
まちづくり活動の情報ニュース発行	自治会報の紙面に、まちづくりコーナーを設け活動内容を魅力的にアピールしていく。サークルの紹介も適時行いたい。

6 活動のポイント

6 - 1 活動の人材

今回は自治会役員だけでなく、おすすめ散歩道マップ編集委員やサークル・団体等へのヒアリング・アンケート調査に「考える会」メンバーが重要な役割を果たしてくれた。一年前から、まちづくり活動を展開してきたことで、まちづくりへの関心を持ち幅広く活動を担ってくれるメンバーとして着実に育ってきている。

今後、サークル・団体等への働きかけを重ねていくことで、この中からも、まちづくり活動に参加があるものと考えている。

また、草加市の都市計画課、みんなでまちづくり課の職員、千葉大学の学生が本事業に積極的に参加し適切なアドバイスを得た事も円滑な運営を行う上で有効だった。

6 - 2 活動のための資金調達

自治会会計は、会員会費収入で一般活動を行っているが毎年赤字ギリギリで運営されているため本事業は業務委託のみで実施した。

6 - 3 活動のネットワーク・支援

- ・草加市役所、都市計画課、みんなでまちづくり課
- ・独立行政法人 都市再生機構埼玉地域支社
- ・全国公団住宅自治会協議会
- ・埼玉公団住宅自治会協議会
- ・ワークショップの講師団となった千葉大学工学部都市環境システム学科
延藤安弘研究室
- ・ヒアリング・アンケート調査に協力してくれた東京都立大学大学院、都市科学研究科高見沢研究室